

堺市こころの健康センター所報

第 10 号

(平成27年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

平成 27 年度の当センターにおける専門相談の合計件数は前年度から減少が見られました。危険ドラッグの取り締まりが強化されたことに伴い、薬物専門相談の件数が平成 26 年度の 827 件から 512 件に減少いたしました。相談者の依存および乱用対象薬物は平成 26 年度は半数以上が危険ドラッグでしたが、平成 27 年度は覚せい剤が多くを占めるようになりました。このように一部薬物では劇的な減少が見られるものの、覚せい剤を中心とした依存症相談は再度増加傾向にあり、平成 28 年 6 月に施行された刑の一部執行猶予が始まることに合わせて、当センターでは薬物依存症からの回復を支援するため、平成 28 年 6 月より心理教育プログラム SDY48(Sakai Dan Yaku 48: さかいでだんやくしょうや) を開始しております。

また、ひきこもり専門相談では相談件数については 4760 件と増え続けており、平成 26 年度の時点で全国最多の相談件数であったことから、平成 28 年 3 月 31 日に厚生労働省アフターサービス推進室から当センターの取り組みについてプレスリリースがなされました。当センターの取り組みについては、臨床心理技術者が医学誌への投稿を行うなど積極的に報告を行っているところですが、画期的なグループワークの手法を用いることで、対象者の多様なニーズに応えられるように努めております。

精神医療審査会につきましては、平成 27 年度は医療保護入院の届け出件数が平成 26 年の 2599 件から 100 件以上増加し、2700 件となりました。各委員の負担は増加傾向にある一方で、退院請求や処遇改善請求などに対応する審査日数は短くなりました。しかし、目安とされる 30 日を超えていることから、さらなる努力を求められているところです。同様に市内の病院では患者さんが入院してから退院するまでの平均在院日数も年々短くなっており、この観点からもさらなる審査の迅速化が求められると考えております。

普及啓発や研修講師の派遣などの依頼も多く、当センターに期待される役割はますます多様化しており、市民の皆様の期待に応えられるよう努力して参ります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 7 月

堺市こころの健康センター
所長 木内 邦明

目 次

はじめに	1
I 堺市こころの健康センターの概要	
1 施設	3
2 組織と職員数	5
II 事業概要と業務実績	
1 専門相談・診療事業	6
2 教育研修事業	13
3 普及啓発事業	17
4 技術支援事業	20
5 組織育成事業	23
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び 精神障害者保健福祉手帳の判定	24
7 調査研究事業	26

【略語注釈】

Dr＝医師、CP＝臨床心理技術者、PHN＝保健師、PSW＝精神保健福祉士

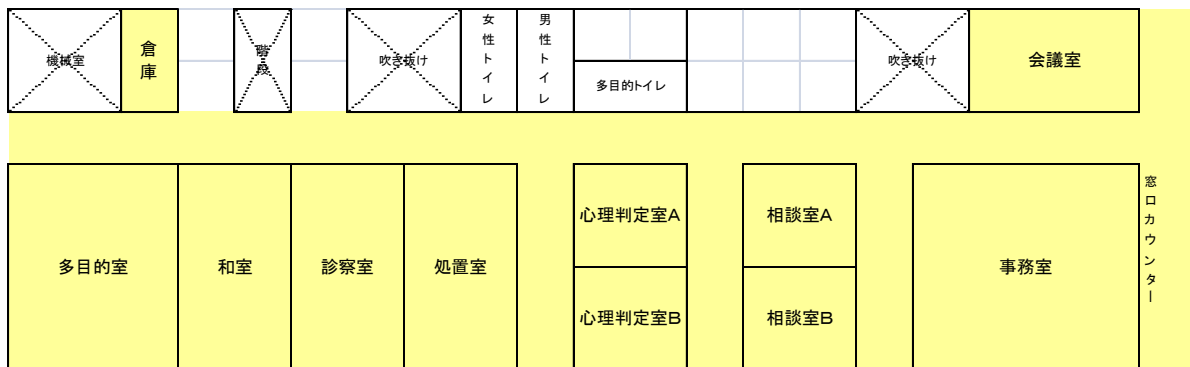
I 堺市こころの健康センターの概要

1 施設

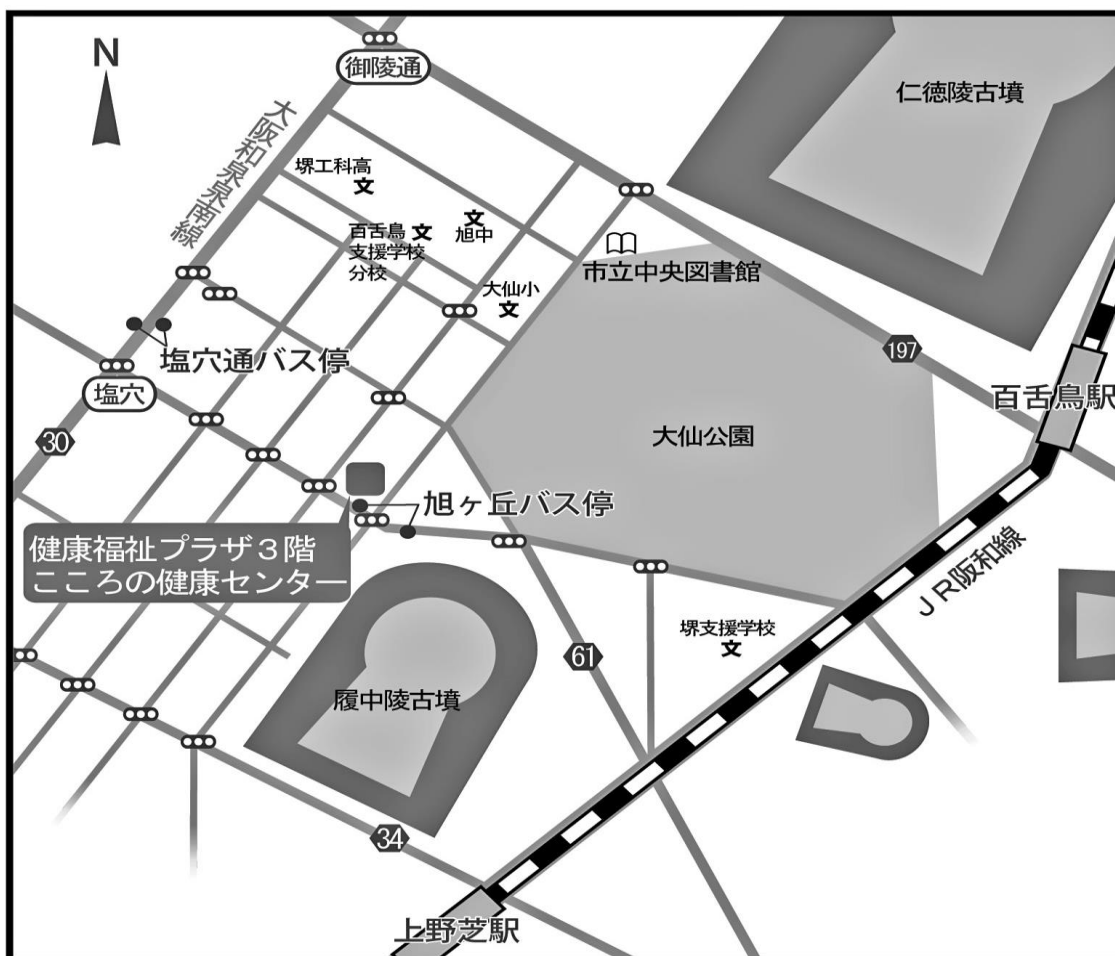
1-1 外観



1-2 平面図



1-3 所在地



〔住所〕 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ3階

〔電話〕 072-245-9192 〔FAX〕 072-241-0005

072-243-5500 (こころの電話相談)

072-241-0880 (ひきこもり電話相談)

〔アクセス〕 JR阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ1.4km

JR阪和線「上野芝」駅下車 北西へ1.3km

南海バス「堺東」駅より(泉ヶ丘駅行)乗車、「旭ヶ丘」バス停下車すぐ

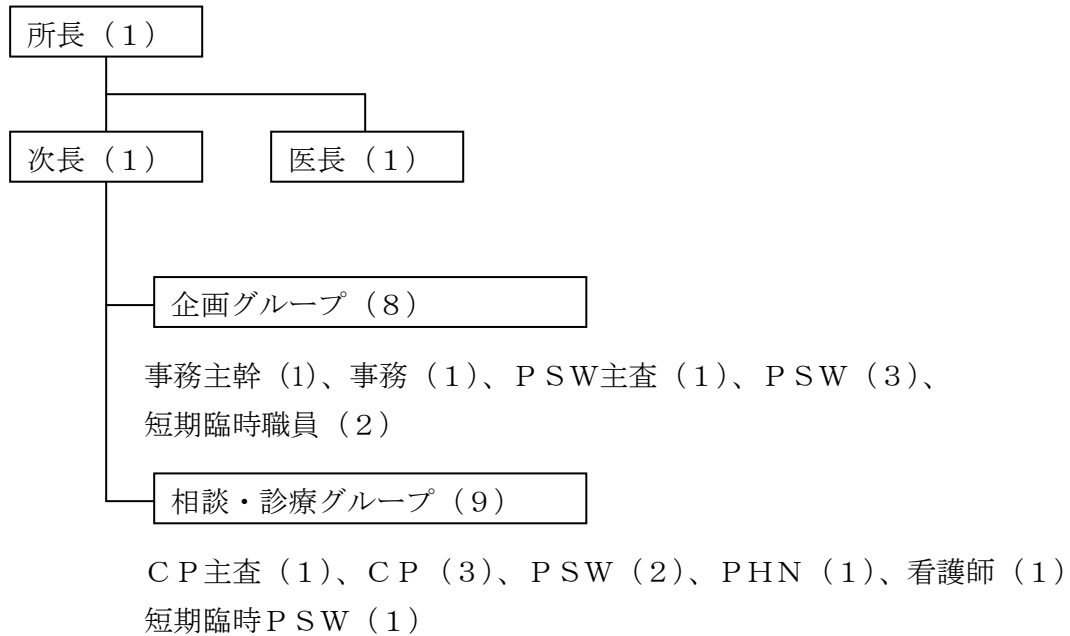
南海バス(西区役所前行など)乗車「塩穴通」バス停下車 南東へ500m

1-4 開設

開設年月日 平成18年4月1日

2 組織と職員数

2-1 組織（平成27年4月1日現在）



2-2 職種別職員数（平成27年4月1日現在）

	Dr	PSW	CP	PHN	看護師	事務職
所長	1					
次長		1				
医長	1					
企画		4 内非常勤職員 2				4 内短期臨時職員 2
相談・診療		3 内非常勤職員 1 内短期臨時職員 1	4 内非常勤職員 2	1	1 内非常勤職員 1	

電話相談員・・・12名（当番制）

非常勤嘱託Dr・・・3名

Ⅱ 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1-1 専門相談の概要

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難な事例に対する相談業務を行った。(表 1-1)

(表 1-1) 専門相談 利用者数

		延べ件数	実数
合 計		5976	729
再 掲	ひきこもり	4760	335
	薬物依存症	512	60
	自死遺族	152	30
	その他	552	304

1-2 ひきこもり (ひきこもり地域支援センター)

平成 23 年度に当センター内に設置された「ひきこもり地域支援センター (成人期)」の活動として、市民に対する講演会や、ホームページ・リーフレット等を使った啓発を行った。また、「ひきこもり相談電話」を設置し、利便性を高め、より広く市民からの相談に応じた。各関係機関のネットワークを構築し、支援体制の整備を行った。

さらに、平成 26 年度からは、ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者に対して、「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、登録したサポーターを各種ひきこもり支援に活用した。

1) 相談支援及びグループワーク等

ひきこもり状態にある本人およびその家族や関係者に対して相談支援を行った。対象は、おおむね 15 歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、あきらかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。電話、来所面接、家庭訪問、所外相談 (同行等)、手紙、メール等の方法により実施した。(表 1-2-1)

また、ひきこもり相談を利用している家族を対象に、ひきこもりに関する学びの場とする家族教室と、家族同士の交流の場としての家族交流会を実施した。(表 1-2-2)

さらに、ひきこもり相談を利用している本人を対象とした各種グループワークを実施した。(表 1-2-3)

(表 1-2-1) ひきこもり相談 相談形態別 (延べ件数)

電話(※)	来所相談	家庭訪問	所外	手紙	メール	合計
1632	2310	160	128	68	462	4760

※内ひきこもり相談電話、55件。

(表 1-2-2) ひきこもり家族教室・交流会 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
家族教室 (コミュニケーション講座、当事者体験談、 家族体験談、ライフプランセミナー等)	17	211
家族交流会 (家族が交流し支えあう場)	6	37
合 計	23	248

(表 1-2-3) ひきこもり本人向けグループワーク 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
体験 (ボランティア等の体験をする)	9	66
講座 (さまざまな講義を聴く)	4	44
スポーツ (身体を動かす)	14	168
調理 (調理を通じて交流する)	3	33
クラフト (創作活動をする)	6	45
女性 (女性限定グループ)	8	35
小グループ (少人数の活動)	4	10
緑化活動 (緑化センターでのボランティア活動)	5	28
サポーター研修・ミーティング (サポーター活動)	38	192
サポーター企画グループ (ピアサポーターによる企画)	20	226
合 計	111	847

2) ユース・ピアサポーター活動

ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者を対象に「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、講座修了者を各種ひきこもり支援事業に活用した。具体的にはひきこもり経験を生かした活動として、個別相談の補助、グループワークの企画、家族教室等での体験談の講師として活用した。

養成研修 4回 (表 1-2-3「サポーター研修」より再掲)

ユース・ピアサポーター登録者 15名

活動回数 延べ 255回

3) 教育研修、職員派遣

ひきこもり支援関係機関の職員を対象に、ひきこもり支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。(表 1-2-4)

また、関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-2-5)

(表 1-2-4) ひきこもり研修 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
8/6	ひきこもり支援講座 ひきこもりの背景に見られる 精神疾患と発達障害	当センター Dr、PHN、CP	56
10/1	ひきこもり支援講座 「ひきこもり」の支援から考える 効果的なグループワークとは？	当センター CP	11
合 計		2 回	67 人

(表 1-2-5) ひきこもりに係る主な職員派遣等 実績

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
11/17	ひきこもりの支援について	西区権利擁護部会 (西区基幹型包括 支援センター)	CP、PHN	15
11/24	ひきこもりの支援について	M's カフェ	CP	20
合 計			2 回	35 人

4) 普及啓発

ひきこもりで悩む本人や家族が孤立し、問題が長期化・重症化しないよう、市民に対する講演会を開催した。(表 1-2-6)

(表 1-2-6) ひきこもりに係る普及啓発 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
6/21 (日)	ひきこもり支援から見た現代の若者 ～映画「サムライフ」原作者が語る～	NPO 法人侍学園スクオーラ・今人 理事長 長岡 秀貴 氏	75
合 計		1 回	75 人

5) その他 (技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、ひきこもり支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、ひきこもり地域支援センターの専門性を生かした技術支援等を行った。(表 1-2-7)

また、関係機関と共に、事例検討会 (10 回) を行った。

その他、厚生労働省や地方自治体からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 1-2-7) ひきこもりに係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 全国連絡協議会	協議会への出席	2
		パネラー出務	1
子ども若者支援	子ども若者支援地域協議会 (子ども家庭課)	協議会への出席	1
		代表者会議	
		実務者会議 その他	4 1
合 計		9 回	

1-3 薬物依存症

1) 相談支援及びグループワーク等

覚せい剤、麻薬等の違法薬物や危険ドラッグ等の依存の問題で困っている本人及び家族等に対して相談支援を行った。個別の状況に応じた支援、および精神科医による相談（月1回程度）を実施した。（表 1-3-1）

また、薬物依存症で困っている家族を対象に、薬物問題の正しい理解とその対応について学ぶことを目的とした家族教室を実施した。（表 1-3-2）

さらに、薬物依存症相談の利用者を対象に、再発予防を目的としたグループワークを実施した。（表 1-3-3）

(表 1-3-1) 薬物依存症相談 主な相談対象薬物別（延べ件数）

覚せい剤	麻薬	大麻	有機溶剤	危険ドラッグ	処方薬	その他	合計
382	1	16	13	89	1	10	512

(表 1-3-2) 薬物依存症家族教室 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
1 家族心理教育プログラム	8	130
2 薬物依存症に悩む人たちを支える人のワークショップ		
合 計	8 回	130 人

(表 1-3-3) 薬物依存症グループワーク 利用状況

内 容	実施回数	利用者延数
再発予防を目的とした集団活動	19	40
合 計	19 回	40 人

2) 教育研修、職員派遣

関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-3-4)

(表 1-3-4) 薬物依存症に係る主な職員派遣実績

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
11/27	薬物非行防止指導に係る 「保護者等への指導について」	大阪矯正管区内 少年院法務教官 (矯正研修所大阪支所)	CP	20
合 計		1 回 20 人		

3) その他 (技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、薬物依存症支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。
(表 1-3-5)

(表 1-3-5) 薬物依存症に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
薬物依存症支援	大阪府薬物依存症対策推進会議	会議への出席	2
薬物依存症支援	近畿地区薬物中毒対策連絡会議	会議への出席	1
薬物依存症支援	大阪府麻薬覚せい剤等対策本部 乱用依存症患者対策部会	部会への出席	1
薬物依存症支援	当事者支援ネットワーク検討会議 (大阪府こころの健康総合センター)	協議会への出席	3
合 計		7 回	

1-4 自死遺族

1) 相談支援等

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた支援、および臨床心理士による心理カウンセリング(月2回程度)を実施した。

自死遺族相談実績(再掲) 実数30人(延べ152件)

うち臨床心理士による相談 20回、実数5人(延べ28件)

2) その他 (技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、自死遺族支援を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。
(表 1-4-1)

(表 1-4-1) 自死に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
自殺対策	自殺対策に係る各種会議 (精神保健課)	連絡懇話会への出席	2
		庁内委員会への出席	2
		事例検討会議への出席	12
自殺対策	街頭キャンペーン (精神保健課)	キャンペーンへの出務	2
合 計		18 回	

1-5 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難な症例について、特定外来診療を予約制で行った。(表 1-5)

専門外来診療 実数 16 人 (延べ 21 件)

(表 1-5) 診断分類

広汎性発達障害	その他	合計
9	7	16

1-6 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない状況に対して、電話の利便性の高さや匿名性を生かし、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。(表 1-6-1、表 1-6-2)

なお、平成 24 年 9 月より全国こころの健康統一ダイヤル(0570-064-556)に常時加入した。

専用回線(1回線)により、有資格者の電話相談員が土・日・祝日・年末年始を除く 9:00～12:30、13:30～17:00 に対応した。

また、電話相談における困難事例への対応の検討、及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員のフォローアップ研修及び交流会を実施した。

相談日 244 日

相談件数 2429 件

(表 1-6-1) 相談内容別件数

老人 精神保健	社会復帰	アルコール 依存	薬物依存	ギャンブル 依存	思春期	こころの 健康づくり	うつ	その他
93	1848	7	6	9	47	38	64	317

(表 1-6-2) 対応時間別件数

～15分	15～30分	30～60分	60～120分	120分以上	その他
1071	676	478	119	4	81

2 教育研修事業

2-1 新任者研修

堺市内の精神保健福祉関係機関における実務経験が概ね1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。(表 2-1-1)

また、新たな取組みとして、新任者研修受講者を対象に、フォローアップ研修を行った。(表 2-1-2)

(表 2-1-1) 新任者研修 実施実績

実施日	5/19～22 (1回、4日間)
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市精神保健福祉の流れおよび堺市の障害者相談支援体制 (精神保健福祉士) ・当事者が望む支援(精神障害のある当事者) ・家族会の思いと家族会活動(家族会) ・保健センターの相談員として思うこと(保健センター精神保健福祉士) ・精神疾患の基礎知識(精神科医) ・精神保健福祉の領域で用いる相談技法(臨床心理技術者) ・見学実習、報告会 【実習先】浅香山病院A館デイケア、浅香山病院デイケアサロン、 アンダンテ就労ステーション、四季彩、当センター ・援助職のストレスケア(臨床心理技術者)
参加人数	20人(延べ77人)

(表 2-1-2) 新任者フォローアップ研修 実施実績

実施日	1/19 (1回)
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> 【1部】事例検討(臨床心理技術者、精神保健福祉士) 【2部】情報交換及び交流会
参加人数	12人

2-2 現任者研修

精神保健福祉関係機関の職員を対象に、精神障害者支援の技術を向上させることを目的として、研修を実施した。(表 2-2)

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
7/2	いまさら聞けない「統合失調症」	当センター D r	73
9/15	いまさら聞けない「気分障害」	当センター D r	56
11/5	アルコール関連問題講座 アルコール健康障害、関連問題 とは？ ～アルコール健康障害 対策基本法に基づいて～	当センター D r、PHN	25
合 計		3回 154人	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり 2回 67人）。

2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員（採用 7 年目以下）を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、事例検討研修を実施した。（表 2-3-1）

また、同精神保健福祉相談員（採用 8 年目以上 14 年目以下）を対象に、中堅研修を実施した。（表 2-3-2）

その他、特別研修（退職記念講演）を実施した。（表 2-3-3）

(表 2-3-1) 相談員研修（採用 7 年目以下） 実施実績

実施日	6/19、7/17、8/21、10/16、12/18、2/19、3/18（7回）
内 容	事例検討
参加人数	延べ 45 人

(表 2-3-2) 相談員研修（採用 8 年目以上 14 年目以下） 実施実績

実施日	①5/29、②9/18、③1/15（3回）
内 容	①「一般市民等からの相談への対応について」に関する検討 ②「関係機関との連携への対応について」に関する検討 ③「若手に伝えたい『保健センターの役割』」に関する検討
参加人数	延べ 20 人

(表 2-3-3) 特別研修 実施実績

実施日	2/23
内 容	退職記念講演 発達障害とパーソナリティ障害に関する一つの視点 ～“ややこしい”とされていた事例への関わりから見えてきたもの～
参加人数	32 人

2-4 職員派遣

庁内関係各課、精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 2-4-1、表 2-4-2)

その他、専門学会の講座司会等に職員を派遣した。

(表 2-4-1) 主な職員派遣実績 (庁内)

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
4/2	公務員基礎研修 メンタルヘルス	市職員	CP	175
4/2	公務員基礎研修 メンタルヘルス	市職員 (任期付)	CP	75
4/13	障害支援区分認定調査員研修 精神保健福祉	市職員 (障害支援区分認定調査員等)	PSW	5
8/19	社会福祉実習生に係る研修		PSW	14
11/27	相談支援従事者初任者研修 5日間課程修了者に対する研修		PSW	47
1/29	認知症キャラバン・メイト養成研修		Dr	70
合 計			6回	386人

(表 2-4-2) 主な職員派遣実績 (庁外)

実施日	内 容	対 象	派遣職員	参加人数
4/21	精神障害について	南区訪問介護事業者連絡会	PSW	40
7/22	うつ病について	南区指定相談支援事業所連絡会	Dr	24
10/8	精神疾患の基礎知識について	社会福祉法人障友会	PSW	30
10/23	統合失調症について	北区内の高齢者支援関係機関	Dr	49
10/29	アルコール依存症について	大阪刑務所	Dr	300
11/14	精神障害について	市民後見人養成講座	PSW	30
11/24	堺市立健康福祉プラザ各機関とスポーツセンターの連携について	全国障害者スポーツセンター協議会シンポジウム	PSW	90
12/18	ストレスの現状把握と職場改善によるメンタルヘルス	堺市立健康福祉センター共同事業体	Dr	20
1/24	精神障害について	堺市障がい者スポーツ指導者養成講習会	PSW	40
1/28	対人援助職のストレスについて	堺市社会福祉事業団	CP(2名)	120
合 計			10回	743人

※専門相談に係るものについては前掲 (ひきこもり 2回 35人、薬物依存症 1回 20人)。

※参加人数は、正確な値が分からなかった一部のものについて概数表示。

2-5 学生実習

医科大学生及び精神保健福祉士実習生について、受け入れの調整を行った。(表 2-5)

その他、社会福祉士実習生について、他部局で実施されるプログラムへの協力(講師派遣等)を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名等	実習場所	受入人数
奈良県立医科大学	当センター等	6
大阪保健福祉専門学校	当センター及び堺保健センター等	1
大阪体育大学 健康福祉学部	当センター及び南保健センター等	1
合 計		8 人

2-6 その他研修等

前記以外の研修として、当センター職員が受講した研修の伝達等を行った。(表 2-6)

その他、関係機関や大学からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 2-6) その他研修 主な実施実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
12/3	伝達研修	当センター Dr、CP、PHN	23(延)
合 計		1 回	23 人

3 普及啓発事業

3-1 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。(表 3-1)

(表 3-1) 精神保健福祉セミナー開催実績

名 称	第 22 回堺市精神保健福祉セミナー 「見えない障害を伝えたい ～明日に向かって壁（バリア）をうちやぶろう～」
開催日	12/5（土）
場 所	堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室
主 催	堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内 容	・当事者等によるパネルディスカッション ・講演『見えない障害を考える ～人それぞれの壁、何が壁なのか～』 大阪府立大学 准教授 三田 優子 氏 ・作品展示
参加者	147 人

3-2 ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）

堺市内の医療機関もしくは社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催した。(表 3-2)

(表 3-2) ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）開催実績

名 称	第 27 回堺市精神障害者地域交流運動会
開催日	10/15
場 所	J-GREEN 堺（堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター） 屋根付フットサルコート
主 催	堺市精神障害者地域交流運動会実行委員会
協 力 (順不同)	大阪いずみ市民生活協同組合、(株)神戸屋堺工場、堺ヤクルト販売(株)、 東燃ゼネラルグループ労働組合堺支部、堺市健康づくり推進市民会議
参加者	522 人（26 団体、メンバー：362 名、スタッフ等：160 名）

3-3 家族講演会

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、精神障害者家族講演会を開催した。(表 3-3)

(表 3-3) 家族講演会実績

実施日	内 容	講 師	参加人数
6/20	成年後見制度について	平野・實意司法書士行政書士事務所 平野 次郎 氏	52
9/19	たかが便秘されど便秘 ～腸元気で快チョーな生活を～	特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院 栄養給食室 室長 井戸 由美子 氏	45
2/27	アルコール関連問題とアルコール 依存症 ～こころへの影響を考える～	当センター Dr	44
合 計		3 回 141 人	

3-4 出前講座

「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」として、諸団体からの要請を受けて講師を派遣し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。(表 3-4)

(表 3-4) 出前講座実績

内 容	回 数	参加人数
こころの健康講座 ～ストレスと上手につきあうコツ～	14	延べ 1128
簡単うつ病講座 ～身近なうつ病、気づいていますか？～	2	延べ 90
合 計	16	延べ 1218 人

※参加人数は、正確な値が分からなかった一部のものについて概数表示。

3-5 機関誌の発行

堺市こころの健康センター通信（機関誌『こころ♡さかい』）を発行し、市内の各図書館、区役所の市政情報コーナーなどに配架した。(表 3-5)

(表 3-5) 「こころ♡さかい」発行実績

通算	発行月	主な内容	発行部数
第 22 号	9 月	働く人のメンタルヘルス	6000

3-6 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。(表 3-6)

(表 3-6) 啓発冊子発行実績

名称	発行部数
アルコール依存症とは	5500
ストレスとつきあうコツ	2000
アルコール関連問題とメンタルヘルス	1000

3-7 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、当センターのホームページに掲載した。

URL : <http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

4 技術支援事業

4-1 保健センターへの技術支援

市内各区の保健センターに対して、産休・育休に係る人的支援（19回）、その他技術支援（2回）を行った。

4-2 個別支援及び各種事業への技術支援等

関係機関とのネットワークを構築し、精神保健福祉を推進するため、各種の会議に積極的に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表4-2-1、表4-2-2、表4-2-3）

（表4-2-1） 個別支援に係る技術支援実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等 医療観察	大阪保護観察所等	ケア会議への出席等	39
障害者虐待防止	障害施策推進課	虐待コア会議への出席等	73
障害者支援 (地域移行)	障害施策推進課 障害者基幹相談支援センター	ケア会議への出席等	2
障害者支援 (高次脳機能障害)	生活リハビリテーションセンター	面接への同席等	2
合 計		115回	

※専門相談に係るものについては前掲（自死遺族12回）。

(表 4-2-2) 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁内）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
障害者支援	指定特定相談支援事業所等への 技術支援等に関する会議 (障害施策推進課)	会議への出席	2
障害者支援 (地域移行)	退院促進支援会議等 (障害施策推進課)	会議への出席等 その他技術支援	13 1
障害者支援	障害者施策推進協議会幹事会 (障害施策推進課)	会議への出席	2
障害者支援	障害者施策推進協議会 発達障害者支援専門部会 (子ども家庭課)	会議への出席	1
精神保健福祉	精神保健福祉業務連絡調整会議 (精神保健課)	会議への出席等	10
精神保健福祉	精神科病院実地指導等 (精神保健課)	実地指導立会い等 その他	5 6
精神保健福祉 (ピアサポート)	今後の語り部活動について報告会	報告会への出席	1
高齢者支援	認知症ケアシステム懇話会 (高齢施策推進課)	懇話会への出席（事務局）	1
生活困窮者自立支援	生活困窮者自立支援制度連携会議 (生活援護管理課)	会議への出席	1
健康さかい 21	健康さかい 21 庁内連絡会 (健康医療推進課)	連絡会への出席	1
保健師業務	保健師業務調整会議	会議への出席	9
犯罪被害者等支援	犯罪被害者等支援 庁内連携事務担当者会議 (市民協働課)	会議への出席	1
合 計		54 回	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり 6 回、自死遺族 6 回）。

(表 4-2-3) 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁外）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等 医療観察	医療観察制度運営連絡協議会	協議会への出席	1
	合同事例検討会等 (大阪保護観察所)	検討会への出席等	2
権利擁護支援	日常生活自立支援事業契約締結審査会 (堺市社会福祉協議会)	審査会への出席	6
障害者支援 (自立支援協議会)	堺市障害者自立支援協議会	市協議会への出席等	2
		専門部会への出席等	8
		区協議会への出席等	33
		区協議会への助言等	3
障害者支援 (就労支援)	就業・生活支援センター運営協議会 (就業・生活支援センター)	運営委員会への出席	1
		連絡会議への出席	1
産業保健	産業保健活動推進協議会 堺地域産業保健センター運営協議会 (堺労働基準監督署)	会議への出席	1
障害者支援 (発達障害者)	発達障害者支援センター連絡協議会 (発達障害者支援センター)	協議会への出席	1
精神保健福祉	精神科医療機関療養環境検討協議会	協議会への出席	5
合 計		64 回	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり 3 回、薬物依存症 7 回）。

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動等に対して支援を行った。(表5)

(表5) 組織育成事業 主な実績

対 象	内 容	回数
当事者会	会合出席等	2
家族会	会合出席等	1
医療機関等（各協会等）	会合出席等	10
断酒会	会合出席等	4
その他	その他	3
合 計		20回

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会を設置して審査等を行った。（表 6-1-1、表 6-1-2、表 6-1-3）

なお、合議体は 3 合議体で、合計 36 回（A 合議体 12 回、B 合議体 12 回、C 合議体 12 回）開催した。また、審査会（全体会）を、1 回開催した。

その他、全国精神医療審査会連絡協議会等に参加した。

（表 6-1-1） 審査委員内訳

委員	人数
精神保健指定医	8
弁護士	3
学識経験者	4
合 計	15 人

（表 6-1-2） 退院・処遇改善請求審査

請求等区分	入院形態	請求件数	審査件数	審査結果内訳			
				退院請求		処遇改善請求	
				棄却	容認	棄却	容認
退院	医療保護	31	14	12	2		
	措置	1	0	0	0		
退院 及び 処遇改善	医療保護	3	2	2	0	1	1
	措置	1	1	1	0	1	0
処遇改善	医療保護	0	0			0	0
	措置	0	0			0	0
	任意	1	0			0	0
合 計		37	17	15	2	2	1

※平成 27 年度受理分を計上（一部、平成 28 年度繰越により完了したものを含む）。

※請求電話受電等件数は、505 件。

(表 6-1-3) 入院届・定期病状報告審査

書類区分	審査件数	審査結果内訳 (詳細)	
		適当	不適当
医療保護入院届	2700	2700	0
医療保護入院定期病状報告書	930	930	0
措置入院定期病状報告書	10	10	0
合 計	3640	3640	0

6-2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)の申請にかかる診断書の判定業務を行った。(表 6-2-1)

(表 6-2-1) 自立支援医療（精神通院）判定件数

判定	件数
承認	9623
不承認	6
合計	9629

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請にかかる診断書の判定業務を行った。(表 6-2-2)

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	2684
不承認	27
合計	2711

7 調査研究

7-1 紀要

当センター研究紀要（第8号）を発行した。（表7-1）

（表7-1） 紀要（第8号）掲載論文

論題
ひきこもりの集団支援での活用を目的としたひきこもりサポーター養成講座の取り組み — 「堺市ユース・ピアサポーター養成講座」の実践から —
精神障害者保健福祉手帳取得にかかわる制度・運用上の課題 — 堺市の手帳交付の状況から —
堺市の「精神障害者ピアサポーター養成講座」の10年を振り返って

7-2 その他発表等

前記以外の調査研究として、活動報告の発表等を行った。（表7-2）

（表7-2） 研究発表等 実績

実施日	学会・雑誌等	内 容	職員
6/4	第111回 日本精神神経学会学術総会 学会報告	○堺市こころの健康センター薬物専門相談における来所相談者背景に関する調査 ○堺市「いのちの応援係」による自殺未遂者対策について ○堺市こころの健康センター自死遺族専門相談における来所相談者背景に関する調査	DR CP PHN PSW 等
9/19	第34回日本心理臨床学会 秋季大会 学会報告	ひきこもり事例の多様なニーズに対応する集団支援の方法 —サカイ式すべらないグループワーク（SSG）の紹介—	CP
11/4	第74回日本公衆衛生学会総会 学会報告	高齢化するひきこもり相談の家族状況	CP
12/11	平成27年度ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会報告	ひきこもり相談における発達障害の相談支援の実際	CP
—	『精神保健福祉』への執筆 (日本精神保健福祉士協会)	定期病状報告書について	PSW
—	『堺商工会議所報』への執筆	メンタルヘルスについて	Dr
合 計		8 回	

堺市こころの健康センター所報 第10号（平成27年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

堺市立健康福祉プラザ3階

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

E-mail kokense@city.sakai.lg.jp